

(公財) 日本対がん協会2020年度がん征圧スローガン

いつ受ける？ 声かけしようがん検診

2人に1人が「人生で1度がん」になり、3人に1人が「がんで死亡」するといわれ、がんはとても身近な病気になりました。また、昔は不治の病といわれたがんも、最近では治る率も高くなってきました。その理由として、がんの診断や治療法が急速に進歩していること、検診や人間ドックで早期のうちに発見し、治療が可能になったことが挙げられます。

早期発見、治療のためにがんについてよく知り、がんから身を守りましょう。

がんの特徴

町の平成30年の死亡原因の1位は「がん(悪性新生物)」となっており、がんの死亡率は40歳を超えた頃から上昇し始めます。がんは「老化」が原因で細胞が異常に増殖する病気です。そのため、高齢化とともに発症する率は高くなります。

がんの特徴は大きく2つあります。ひとつは大きくなればなるほど増殖する速度が速くなることです。1つの細胞が1つのがんになるのには約15年かかりますが、1年から2秒になるにはわずか1年半ほどと言われています。もう

ひとつの特徴は、発生した1つの臓器にとどまらず、血液などに入り込み、他の臓器にもがんが出来る「転移」です。自覚症状が現れてからでは治療も困難になることが多く、治る率も低くなるため、早期発見がとても重要です。

がん検診の受け方

がん検診の対象となる人を知っていますか？がん検診は、特に症状がない人が対象です。症状がない人は「検診」を受け、症状がある人は病院など医療機関で「診療」を受けることが必要です。また、例年、要精検になったにもか

また、早期発見のポイントとして、症状がない人は、がん検診を受診できる時に必ず受診しましょう。がん検診は1回きりではなく定期的に受けることが大切です。



がんを遠ざける生活を

普段の何気ない生活習慣が、がんになるリスクを高めます。自分のライフスタイルをチェックし、出来ることから変えてみましょう。また、がん予防法、検診の受診、結果などについて分からないことがあれば、健康増進課健康支援係までお気軽に相談ください。

がんを防ぐための新12か条

- ①タバコは吸わない
- ②他人のタバコの煙を避ける
- ③お酒はほどほどに
- ④バランスのとれた食生活を
- ⑤塩辛い食品は控えめに

すごいな！むし歯のない子



かえで
高橋 楓ちゃん
(7町内)



たくみ
三留 拓海くん
(4町内)

9月17日、3歳児4人を対象に健康診査を行った結果、2人にむし歯がありませんでした。

(がん研究振興財団より)

- ⑥野菜や果物は不足にならないように
- ⑦適度に運動
- ⑧適切な体重維持
- ⑨ウイルスや細菌の感染予防と治療
- ⑩定期的ながん検診を
- ⑪身体の異常に気がついたら、すぐに受診を
- ⑫正しいがん情報でがんを知ることから